

第 4 1 期 事 業 報 告 書

平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日



株式会社島精機製作所

Message from the President

株主の皆さまへ



株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第41期（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当期における経済情勢は、世界的には、消費意欲は回復基調で推移しましたが、わが国経済は、デフレ進行にともなう消費者マインドの減退や設備投資の低迷などによりマイナス成長に陥っています。

このような経営環境のもと、当社は、基本理念である「最高機能の製品を経済的な価格で提供し、ユーザーのニーズを先取りした、より魅力ある製品・技術の創造」に引続き努力してまいりました。

当社の主力である横編機事業におきましては、「第7回大阪国際繊維機械ショー（OTEMAS）」などに出席し、ホールガーメント[®]（無縫製ニット）機を中心に新しいニットファッションの情報を発信することで、高い評価を得ることができました。海外市場では、欧州や北・南米市場で厳しい情勢となりましたが、韓国、香港を中心としたアジア地域は横編機、手袋編機とも好調で、中東も堅調に推移しました。また国内市

場では、ホールガーメント[®]の浸透があったものの、業界をとりまく環境は回復には至らず、非常に厳しい状況が続きました。

その結果、当期の売上高は、363億69百万円（前期比4.1%減）となりました。利益面では、販売価格の回復やコストダウンの推進などで、営業利益は43億39百万円（前期比18.8%増）となりました。また、経常利益は、円安による為替差益が生じた結果、54億38百万円（前期比21.5%増）となり、当期純利益は、27億75百万円（前期比26.9%増）となりました。

今後の見通しにつきましては、海外市場は緩やかに回復するものと予想される一方で、国内市場は、安価な外国製品の大量輸入などにより、ニット、アパレル業界はSPA（製造小売業）を始めとする新しい業態への転換が急務となっています。

このような経営環境のなかで、当社は、創業以来の創造力を発揮して、高感度、高感性が求められるファッション業界において、ホールガーメント[®]による魅力のあるものづくりを積極的に提案し、「SDS-ONE」をビジュアル情報を活用するためのシステムとして拡販に努めるなど、独自のノウハウによるユーザーサポート体制の充実を進めてまいります。さらに経営全般にわたる、より一層の合理化、効率化を推進し、業績の向上と経営基盤の強化に全力を傾注する所存でございます。

また、当社は本年、創立40周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆さまのご支援、ご高配の賜物と厚くお礼申し上げます。

平成14年6月

代表取締役社長

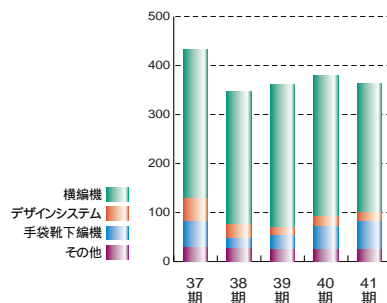


決算ハイライト

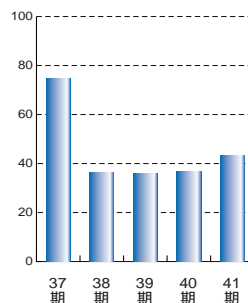
| | (単体) | | (連結) | |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 当期 (平成14年3月期) | 前期 (平成13年3月期) | 当期 (平成14年3月期) | 前期 (平成13年3月期) |
| 売上高(百万円) | 36,369 | 37,920 | 39,096 | 39,784 |
| 営業利益(百万円) | 4,339 | 3,654 | 5,281 | 4,666 |
| 経常利益(百万円) | 5,438 | 4,476 | 6,049 | 5,117 |
| 当期純利益(百万円) | 2,775 | 2,187 | 3,060 | 2,552 |
| 1株当たり当期純利益(円) | 74.00 | 58.18 | 81.61 | 67.89 |
| 総資産(百万円) | 87,454 | 94,873 | 92,548 | 99,068 |
| 純資産(百万円) | 77,311 | 82,795 | 81,734 | 86,557 |

業績の推移 (単体)

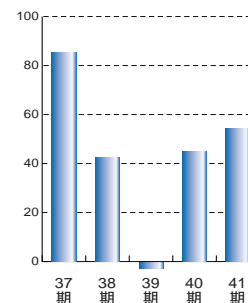
売上高 (単位: 億円)



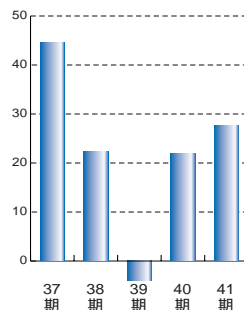
営業利益 (単位: 億円)



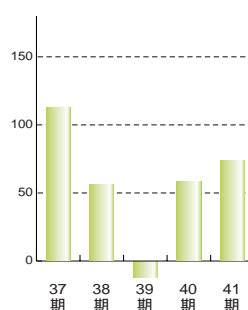
経常利益 (単位: 億円)



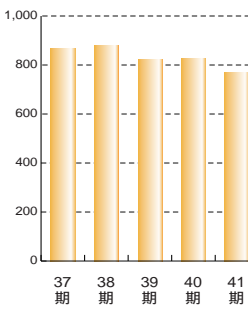
当期純利益 (単位: 億円)



1株当たり当期純利益 (単位: 円)



純資産 (単位: 億円)



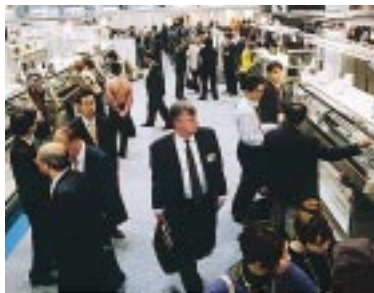
トピックス

7th OTEMAS 開催 ～「魅力ある商品づくり」の提案～

昨年10月8日から13日までの6日間、インテックス大阪において第7回大阪国際繊維機械ショー（7th OTEMAS）が開催されました。

当社は、今回のOTEMAS展で国内展示会としては過去最大の展示スペースを確保し、ホールガーメント[®]機を中心とするコンピュータ横編機や手袋靴下編機、デザインシステムをフルラインアップで出展しました。

「ALL in ONE」のコンセプトのもと、ファッション産業における企画・デザインから生産、流通、販売までを一元化したトータルシステムとしてとらえ、一連の製品群を通じ、パーチャルサンプルの作成やホールガーメント[®]、洋服感覚のニットなど21世紀のモノづくりのありかたをより具体的に提案し、好評を博しました。



また、コンピュータ横編機などのハードだけでなく、「魅力ある商品づくり」をテーマにかかげ、デ



ザインシステム「SDS ONE」を駆使したソフトやノウハウの活用を通じ、当社のトータルデザインセンターで企画、デザインしたホールガーメント[®]による最新のニット製品サンプルを多数展示し、ニットの持つ新しい魅力や可能性についてファッション業界全体へ向け積極的な提案を行いました。

これからもハード面の先進的な技術開発を進めるとともに、よりユーザー業界に近い立場でのサポートを通じて、ファッション産業の活性化に貢献するノウハウの提供とサービス体制の充実に努めてまいります。



WHOLEGARMENT[®] サンプル

1本の糸から生まれたまったく縫い目のないニット、
ホールガーメント[®]
ここでは、そのサンプルをご紹介します。



編地を切って捨てることなく
地球環境にやさしい製品です



縫い目がないためソフトな着心地や
きれいなシルエットが得られます



環境に配慮した取り組み ～太陽光発電設備の導入～

当社では、本社工場棟の屋上に民間企業では国内最大規模の220キロワットの出力となる太陽光発電設備を導入し、本年2月より稼働を開始しています。

この設備の導入は、単に省エネ対策としての使用電力量の削減を目的としているだけでなく、CO₂削減による地球の温暖化防止など、環境に配慮した企業活動の一環として取り組みを行っております。



工場棟屋上に設置された太陽光発電パネル

Operational Review

営業活動のご報告

横編機部門

当社の主力製品である横編機事業では、独自のノウハウをユーザーに提供することで、ホールガーメント[®]機の市場への浸透を、全社を挙げて推進してまいりました。国内市場では、東京・大阪のコミュニケーションスペースへの来場者は着実に増加しましたが、業界を取りまく環境はまだまだ回復には至らず、前期の実績を下回る結果となりました。

一方、海外市場におきましては、従来機種を中心とした競争激化のなか、アジア市場の香港、韓国および中国が高水準の売上を維持したほか、中東のトルコも堅調な推移となりましたが、イタリア、スペインをはじめとする欧州市場が減速し、北・南米市場が低調に

推移したことにより、売上高は前期に比べ減少しました。

横編機事業全体としては、売上高は261億39百万円（前期比8.1%減）となりました。



SWG - FIRST
無縫製型コンピュータ横編機

デザインシステム部門

デザインシステム関連事業では、ALL in ONE コンセプトのもと、ファッション業界のIT化の中核システムとして開発した「SDS - ONE」の販売に注力し、その高機能性と操作性が高く評価され、海外市場では堅調に推移しましたが、国内市場の設備投資意欲の減退により、売上高は20億91百万円（前期比6.7%減）となりました。

SDS - ONE
デザインシステム



手袋靴下編機部門

手袋靴下編機事業では、国内市場においては景気後退の影響で売上の低迷が続いた反面、海外では韓国を中心とするアジア諸国で売上が顕著な伸びを示したことにより、売上高は56億5百万円（前期比23.8%増）となりました。



NewSFG
シームレス手袋編機

40年の歩み

手袋編機の全自動化からスタートした当社は、おかげさまで、本年創立40周年を迎えました。

「Ever Onward～限りなき前進～」を経営理念にかかげ、常に新しい技術の開発、新たな技術領域への挑戦に取り組み、手袋編機からコンピュータ横編機、デザインシステムへとそのフィールドを拡大してまいりました。そして今日では、横編機と手袋編機の世界シェアNo.1企業として大きな飛躍をみせ、これからもホールガーマメント[®]をはじめとする当社独自の画期的な技術によって、更なる前進を続けて参ります。

1962 手袋編機の全自動化という難課題をもって、現社長が当社を設立



全自動手袋編機

1965 全自動手袋編機の開発に成功

1967 世界初の全自動フルファッション
衿編機を開発、横編機業界に進出

1970 全自動シームレス手袋編機を開発

1971 パリのITMA展（国際繊維機械見本市）に全機種を出展し、国際的評価を得る

1978 コンピュータ横編機「SNC」を開発し、横編機の新分野を開拓



コンピュータ横編機「SNC」

1981 デザインシステム「SDS-1000」を開発

1988 アパレルCADシステム「PGM-2」を開発

1989 第2世代のコンピュータ横編機「SES」シリーズを開発し、ニット業界から高い評価を受ける

1990 大阪証券取引所市場第二部に上場



1992 ハイビジョン対応のデザインシステム「ハイパーペイント」、生地自動裁断機「P-CAM」を開発



デザインシステム「ハイパーペイント」

大阪証券取引所市場第一部銘柄に指定

1995 世界初の完全無縫製型コンピュータ横編機「SWG」を開発し、次世代の横編機として高い評価を得る



完全無縫製型コンピュータ横編機「SWG」

1996 東京証券取引所市場第一部に上場

1997 世界初の「スライドニードル」を搭載した画期的な多機能コンピュータ横編機「SWG-FIRST」を開発



2000 ALL in ONE のコンセプトのもと、アパレル業界のIT化の中核システムとして「SDS-ONE」を開発し、その操作性、高機能性が高く評価される



デザインシステム「SDS-ONE」

Financial Data

財務データ

貸借対照表(単体)

(単位:百万円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|-----------------|--------------|--------------|
| | 平成14年3月31日現在 | 平成13年3月31日現在 |
| 流動資産 | 55,416 | 55,883 |
| 現金及び預金 | 6,627 | 6,508 |
| 受取手形及び売掛金 | 39,102 | 39,077 |
| たな卸資産 | 8,910 | 9,642 |
| その他の | 1,128 | 874 |
| 貸倒引当金 | 352 | 219 |
| 固定資産 | 32,038 | 38,990 |
| 有形固定資産 | 17,532 | 29,170 |
| 建物及び構築物 | 6,186 | 6,316 |
| 土地 | 10,025 | 21,215 |
| その他 | 1,320 | 1,638 |
| 無形固定資産 | 129 | 132 |
| 投資その他の資産 | 14,376 | 9,686 |
| 投資有価証券 | 3,054 | 3,276 |
| 関係会社株式 | 2,471 | 2,141 |
| 再評価に係る繰延税金資産 | 4,677 | |
| その他 | 5,923 | 6,072 |
| 貸倒引当金 | 1,750 | 1,804 |
| 資産合計 | 87,454 | 94,873 |
| 流動負債 | 8,857 | 10,821 |
| 支払手形及び買掛金 | 4,673 | 5,547 |
| 短期借入金 | | 500 |
| 未払法人税等 | 1,430 | 1,526 |
| 賞与引当金 | 552 | 555 |
| その他 | 2,200 | 2,691 |
| 固定負債 | 1,285 | 1,257 |
| 退職給付引当金 | 1,285 | 1,257 |
| 負債合計 | 10,143 | 12,078 |
| 資本 | 14,859 | 14,859 |
| 資本準備金 | 21,724 | 21,724 |
| 利益準備金 | 2,124 | 2,024 |
| 再評価差額金 | 6,528 | |
| その他の剰余金 | 46,025 | 44,507 |
| その他有価証券評価差額金 | 261 | 320 |
| 自己株式 | 632 | |
| 資本合計 | 77,311 | 82,795 |
| 負債及び資本合計 | 87,454 | 94,873 |

| (注) | (当期) | (前期) |
|------------------------------|-----------|-----------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 17,311百万円 | 17,052百万円 |
| 2. 保証債務 | 5,287百万円 | 6,410百万円 |
| 3. 輸出手形割引高 | 4,720百万円 | 993百万円 |
| 4. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。 | | |

損益計算書(単体)

(単位:百万円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成13年4月1日から平成14年3月31日まで | 平成12年4月1日から平成13年3月31日まで |
| 売上高 | 36,369 | 37,920 |
| 売上原価 | 22,253 | 24,382 |
| 売上総利益 | 14,116 | 13,537 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,776 | 9,883 |
| 営業利益 | 4,339 | 3,654 |
| 営業外収益 | 1,243 | 1,201 |
| 営業外費用 | 144 | 378 |
| 経常利益 | 5,438 | 4,476 |
| 特別利益 | 71 | 11 |
| 特別損失 | 915 | 758 |
| 税引前当期純利益 | 4,594 | 3,729 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,189 | 1,590 |
| 法人税等調整額 | 369 | 47 |
| 当期純利益 | 2,775 | 2,187 |
| 前期繰越利益 | 1,966 | 2,105 |
| 中間配当額 | 564 | 563 |
| 中間配当に伴う利益準備金積立額 | | 56 |
| 当期未処分利益 | 4,177 | 3,673 |

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

利益処分(単体)

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 |
|---------------------|---------------------------|
| 当期末処分利益 | 4,177,800,651 |
| 特別償却準備金取崩額 | 3,881,271 |
| 計 | 4,181,681,922 |
| これを次のとおり処分いたします。 | |
| 利益配当金 (1株につき15円) | 559,785,750 |
| 役員賞与金 (うち監査役賞与金) | 30,000,000 (1,500,000) |
| 特別償却準備金 | 14,943,690 |
| 別途積立金 | 1,500,000,000 |
| 次期繰越利益 | 2,076,952,482 |

(注) 1. 平成13年12月4日に564,000,000円(1株につき15円)の中間配当を実施しました。
2. 特別償却準備金の積立及び取崩は、租税特別措置法の規定に基づくものであります。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|-----------------|--------------|--------------|
| | 平成14年3月31日現在 | 平成13年3月31日現在 |
| 流動資産 | 60,957 | 60,423 |
| 現金及び預金 | 10,763 | 9,829 |
| 受取手形及び売掛金 | 38,759 | 38,401 |
| たな卸資産 | 10,300 | 11,140 |
| その他 | 1,576 | 1,350 |
| 貸倒引当金 | 442 | 299 |
| 固定資産 | 31,591 | 38,644 |
| 有形固定資産 | 18,935 | 30,621 |
| 建物及び構築物 | 6,752 | 6,868 |
| 土地 | 10,267 | 21,453 |
| その他 | 1,916 | 2,299 |
| 無形固定資産 | 139 | 143 |
| 投資その他の資産 | 12,516 | 7,879 |
| 投資有価証券 | 3,275 | 3,500 |
| 再評価に係る繰延税金資産 | 4,677 | |
| その他 | 6,317 | 6,182 |
| 貸倒引当金 | 1,753 | 1,803 |
| 資産合計 | 92,548 | 99,068 |
| 流動負債 | 9,126 | 10,842 |
| 支払手形及び買掛金 | 4,473 | 5,066 |
| 短期借入金 | 30 | 530 |
| 未払法人税等 | 1,552 | 1,741 |
| 賞与引当金 | 651 | 654 |
| その他 | 2,418 | 2,850 |
| 固定負債 | 1,470 | 1,442 |
| 退職給付引当金 | 1,470 | 1,437 |
| その他 | | 5 |
| 負債合計 | 10,597 | 12,284 |
| 少数株主持分 | 217 | 225 |
| 資本金 | 14,859 | 14,859 |
| 資本準備金 | 21,724 | 21,724 |
| 再評価差額金 | 6,528 | |
| 連結剰余金 | 52,513 | 50,610 |
| その他有価証券評価差額金 | 261 | 320 |
| 為替換算調整勘定 | 58 | 316 |
| 自己株式 | 632 | 0 |
| 資本合計 | 81,734 | 86,557 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 92,548 | 99,068 |

連結損益及び剰余金結合計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 当 期 | 前 期 |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成13年4月1日から平成14年3月31日まで | 平成12年4月1日から平成13年3月31日まで |
| 売上高 | 39,096 | 39,784 |
| 売上原価 | 22,938 | 24,208 |
| 売上総利益 | 16,157 | 15,575 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,876 | 10,909 |
| 営業利益 | 5,281 | 4,666 |
| 営業外収益 | 858 | 783 |
| 営業外費用 | 90 | 332 |
| 経常利益 | 6,049 | 5,117 |
| 特別利益 | 80 | 11 |
| 特別損失 | 917 | 815 |
| 税金等調整前当期純利益 | 5,212 | 4,313 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,471 | 1,911 |
| 法人税等調整額 | 319 | 155 |
| 少数株主利益又は少数株主損失() | 0 | 4 |
| 当期純利益 | 3,060 | 2,552 |
| 連結剰余金期首残高 | 50,610 | 49,374 |
| 連結剰余金減少高 | 1,157 | 1,315 |
| 配当金 | 1,127 | 1,315 |
| 役員賞与 | 30 | |
| 連結剰余金期末残高 | 52,513 | 50,610 |

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

| 連結貸借対照表の注記 | (当 期) | (前 期) |
|------------------------------|-----------|-----------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 19,584百万円 | 19,301百万円 |
| 2. 保証債務 | 5,304百万円 | 6,395百万円 |
| 3. 輸出手形割引高 | 4,720百万円 | 993百万円 |
| 4. 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。 | | |

Stock Information

株式の状況(平成14年3月31日現在)

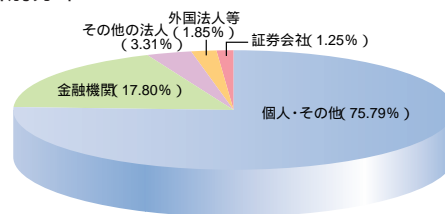
大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------------------|---------|---------|
| 島 正 博 | 5,780 | 15.37 |
| 後 藤 明 史 | 2,890 | 7.68 |
| 島 三 博 | 1,980 | 5.26 |
| 株式会社UFJ銀行 | 1,428 | 3.79 |
| 島 節 子 | 1,198 | 3.18 |
| シマセイキ社員持株会 | 1,166 | 3.10 |
| 島 和 代 | 781 | 2.07 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) | 725 | 1.92 |
| 株式会社紀陽銀行 | 708 | 1.88 |
| 和島興産株式会社 | 700 | 1.86 |

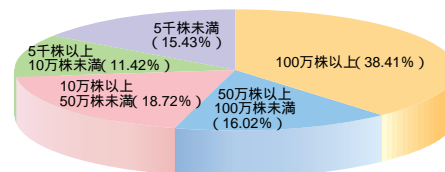
株式の状況

会社が発行する株式の総数 142,000,000株
 発行済株式の総数 37,600,000株
 当期末株主数 15,878名

所有者別分布



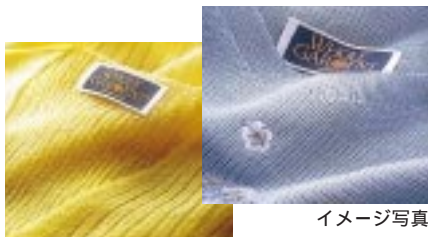
所有数別分布



株主優待のお知らせ

平成14年3月末日現在の単元株主様に、日頃の感謝の気持ちをこめて、株主優待といたしまして、ホールゲーム[®]のオリジナルニットウェアをお届けします。

ホールゲーム[®]のもつ魅力をぜひ体感ください。



イメージ写真

内容の詳細等につきましては、あらためてご案内させていただきます。



マーキーズ サウステラス



ホテル マーキーズ

なお、9月末日現在の単元株主様には、当社グループ企業が経営する南紀白浜「ホテル マーキーズ」、「マーキーズ サウステラス」の宿泊優待割引券を進呈いたします。(お届けは12月頃を予定)

会社概要

会社概要(平成14年3月31日現在)

商号 株式会社 島精機製作所
 英訳名 SHIMA SEIKI MFG.,LTD.
 本社 和歌山市坂田85番地
 創立 昭和37年2月4日
 資本金 148億5,980万円
 従業員 1,011名
 事業内容 コンピュータ横編機
 シームレス手袋編機、靴下編機
 コンピュータデザインシステム
 ニットCADシステム
 アパレルCAD / CAMシステム

役員(平成14年6月27日現在)

| 役名 | 氏名 | 担当または主な職業 |
|---------|---------|---------------------|
| 代表取締役社長 | 島 正 博 | |
| 常務取締役 | 田 中 雅 夫 | 経理部長 |
| 常務取締役 | 村 元 勝 | 輸出部長 |
| 取締役 | 岩 倉 煌 一 | 企画部長 |
| 取締役 | 京 谷 実 | 生産技術部長兼システム生産技術部長 |
| 取締役 | 有 本 博 行 | 資材部長 |
| 取締役 | 森 田 敏 明 | メカトロ開発部長 |
| 取締役 | 和 田 隆 | 製造技術部長 |
| 取締役 | 後 藤 明 史 | 営業部長兼トータルデザインセンター部長 |
| 取締役 | 島 三 博 | システム開発部長 |
| 取締役 | 片 桐 正二郎 | 総務部長 |
| 常勤監査役 | 大 川 修 | |
| 監査役 | 巽 安 弘 | |
| 監査役 | 的 場 悠 紀 | 弁護士 |

(注) 監査役 的場悠紀は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

事業所

本 社 和歌山市坂田85番地
 支 店 東京支店(東京都中央区)
 大阪支店(大阪市北区)
 名古屋支店(名古屋市中区)
 泉州支店(大阪府泉大津市)

営 業 所 山形営業所(山形県山形市)
 福島営業所(福島県伊達郡保原町)
 新潟営業所(新潟県五泉市)
 甲府営業所(山梨県中巨摩郡昭和町)
 四国営業所(香川県大川郡白鳥町)

海外支店 台北支店

株主メモ

| | |
|---|---|
| 決算期 | 毎年3月31日 |
| 配当金受取株主確定日 | 利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 基準日 | 毎年3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告して定めます。 |
| 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 |
| 株式事務取扱場所 | 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話(06)6229-3011(代表) |
| 同取次所 | UFJ信託銀行株式会社全国本支店 |
| 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行株式会社の 電話およびインターネットでも24時間承っております。 | |
| 電話(フリーダイヤル) | 0120-24-4479(本店証券代行部) 0120-68-4479(大阪支店証券代行部) |
| インターネットホームページ | http://www.ufjtrustbank.co.jp/ |

SHIMA SEIKI

株式会社島精機製作所

和歌山市坂田85番地

URL <http://www.shimaseiki.co.jp>